

# 信 毎 歌 壇

## 小島 なお選

冬陽さし遠端に春の部屋となる椅子テーブルが誇らしく照る (上田市) 田中美保子  
 カニカマを生んだ七尾の商魂は地震なんか絶對負けない (松本市) 三井 基史  
 薪用に樺の丸太もらい受く樺の漢字書き初めに習う (池田町) 西山 淑枝  
 還曆を迎へし森永給水塔役目を終へて解体さびし (松本市) 中村 博穂  
 灯油一缶、精米十五キロ運び悪化したらし脊柱管狭窄症 (千曲市) 関 津和子  
 掃除機のコードを少し引くやうに喚く男子の心ほぐしぬ (長野市) 伊藤 恵子  
 漬けて煮ておろして今日もまた皆を待ちたる大根づくしの食卓 (中野市) 大坂くみ子  
 この町の名物何かと尋ねれば角が曲がった交番を指す (東御市) 関 啓  
 富士山があんなにはつきり見えるのに中央道にハスは止らず (泰阜村) 松島 厚子  
 今は本読んでをります又今は魚煮てます常が何より (小海町) 依田 久代

第一首、冬陽の差し込む部屋はもう春のあかるさ。家具の一つ一つにくまなく届く新しい季。第二首、能登半島七尾の「スギヨ」は昭和47年に世界初のカニカマを発売し戦後の食を支えた。下句字余りのエール。第三首、これからは薪をくべるたびにあの難しく立派な漢字が頭に浮かぶのだろう。第四首、60年間を地域のシンボルとしてあった給水塔。作者の時間もともに流れている。

選評

## 米川 千嘉子選

戦死したつねおおじさんの名前継ぎつね子となりて共に生きたる (松本市) 金井つね子  
 従姉逝く「気丈なおばちゃんの娘だもの」と励ましくれしわが辛き日を (上田市) 小林さよ子  
 父は母を母は父をたしなめあつてるとテイサービスのスタッフにきく (長野市) 原田りえ子  
 違和感から覚えてもらふ作戦はマイナスからのスタートなんです (塩尻市) 藤森 円  
 正月の辰年生まれの子は竜の屏風を飾り意気込む (須坂市) 堀内佐代子  
 免許証放棄せしより一年余り備蓄に知恵をめぐらす暮らし (長野市) 丸山 祐司  
 犠牲者のわが子の凜々しき肖像画掲げて叫ぶガザの父親 (佐久市) 篠原 敬子  
 絵に描きし餅のごとくと思ふなり世界平和の実現難し (飯綱町) 坂井 寿男  
 きのおきよう続けて止まる時計たち「もう歳を取るな」と言ってくれるか (塩尻市) 丸山 穂子  
 若返りを願ひて急に八十歩を 諷むるごころ下肢痛む (伊那市) 堀米 好美

第一首、亡き「つねおおじさん」の名から「つね子」と名付けたのは祖父母だろうか。その思いをしっかりと受け止めた結句が感銘深い。第二首、何十年もお互いを知る従姉ならではの一首。思い出は母にもさかのぼってあふれる。第三首、両親が通うデイサービス。スタッフの言葉をほほ笑ましくうれしく聞いたのだろう。第四首、「作戦」といったのは強がりなのか。しかし、覚えてもらえたのだ。

選評

## 小池 光選

何をしわたしはここに来たんだらう拾ひし紙屑見つと思ふも (長野市) 原田 浩生  
 をさなごが巡環バスに乗りくれば車内にやさしき声の上がりぬ (飯山市) 市村紀久子  
 懐かしき人訪ひ来たるごころなり静けき音立て冬の雨降る (飯綱町) 坂井 寿男  
 日にいく度ホストのふたを開けてみる誰かと会えるそんな気がして (長和町) 羽毛田 栄  
 庭雀寒さきひしき朝なれど「立春立春」梅の木に鳴く (東御市) 関 啓  
 まつさらな朝は光に満ち満ちて遠くに工場の煙がのぼる (千曲市) 中村 美樹  
 砂浜に座りて寄せ来る波を見る龍馬も聞きしかこの波音を (上松町) 藤原 邦子  
 母の歌五十首ばかりが吾が歌の基本となつて生きているんだ (松本市) 降旗 悦一  
 短歌などまったく興味ない夫が開いたままに信毎歌壇 (中野市) 大坂くみ子  
 膝にのる孫の体の暖かさひとりに慣れた私をつむ (安曇野市) 林 靖子

第一首、こういうことは年輪を重ねると誰でも経験することで、しばしば歌になるが、紙屑を手にするのがあたらしい。ほうぜんと紙屑を手立つ一人の男。絵になる。第二首、町の循環バスに乗るのは普段老人ばかり。めずらしく今日はこの子どもが乗ってきた。みながうれしくなる。こどもは神様。第三首、ものしづかな歌だが風格がある。しらべもよい。懐かしい人に会った気がするのである。

選評

取り急ぎ手帳申請夫の写真七キロ瘦せて病衣のままの (千曲市) 沢 千枝  
 続々と水仙の芽の出でてきぬわれは真冬の中に居りたり (松本市) 倉科美恵子

佳作  
 継母と義弟の中で揺れる夢一茶の苦悩を満月に見きつぱりと天と大地を切りわけて水平線より荒波の寄す (上松町) 藤原 邦子

佳作  
 満月の空に安堵し満月の見えない空の町のこと思帰省するたびに増えゆく寒がりな私のための厚い靴 (東京都練馬区) 音羽 凜